第3章

通信機器を接続する

カメラと通信機器を接続する

カメラと通信機器を接続する方法を説明します。

接続方法の種類

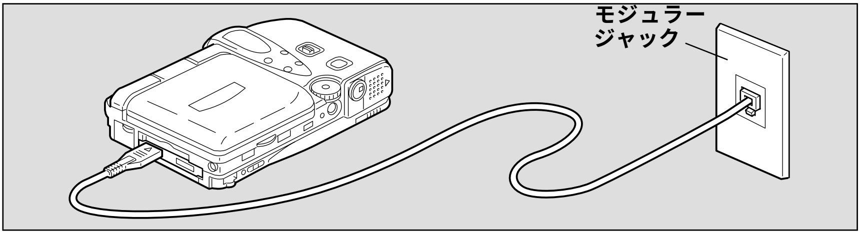
まず、カメラと通信機器を接続する方法を紹介します。それぞれの接続方法の詳細については、次の項から説明していきます。

重要

- カメラを通信機器に接続する場合には、市販の通信カードをご購入いただく必要があります。弊社で推奨する通信カードについては、カメラに同梱の別紙「動作確認済製品一覧表」をご覧ください。また、最新の情報についてはインターネットホームページ（巻末に記載）等でご覧いただけます。
- 通信カードのケーブル端子の部分には、触れないようにしてください。
- 通信カードについての詳細は、各通信カードに付属の説明書をご覧ください。

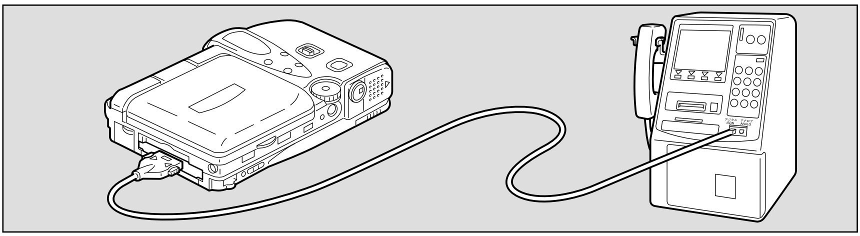
■カメラを一般の電話回線に接続する方法

一般の電話回線（アナログ回線）につなぐ方法です。



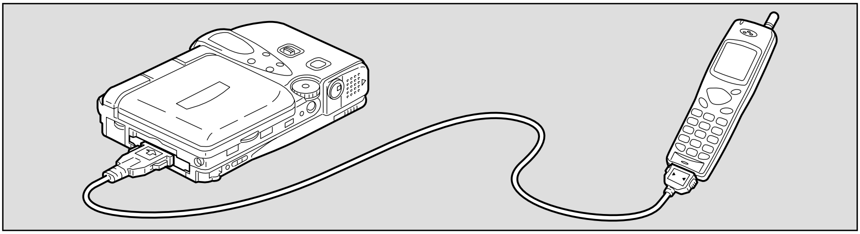
■カメラをISDN回線に接続する方法

ISDN回線（デジタル回線）に対応の公衆電話につなぐ方法です。
（オフィスや家庭内のISDN回線に直接つないだり、TA（ターミナルアダプター）のS点端子につなぐこともできます）



■カメラを携帯電話や PHS に接続する方法

デジタル携帯電話や PHS につなぐ方法です。



カメラを一般の電話回線に接続する

カメラを電話回線に接続します。

■必要なもの

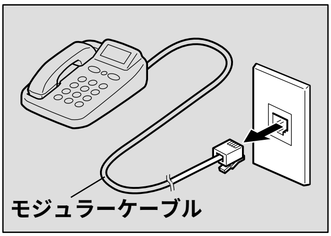
・一般の電話回線に接続するための通信カード（モデムカード）
・接続用のケーブル

重要
・PCカードタイプの通信カードを使用したときは、PCカードスロットが通信カードで使われることになります。したがってPCカードに記録された画像を送信することはできません。この場合は、画像を内蔵メモリーまたはCFカードに記録（またはコピー）するようにしてください。

■接続する

重要
・通信カードをカメラにセットするときは、必ずカメラの電源を切ってください。電源を入れたままで行うと、通信カードが破壊されたり、カメラ本体が誤動作を起こす場合があります。

❶ 電話機の接続用ケーブル（モジュラーケーブル）を壁側のモジュラージャックから外します。



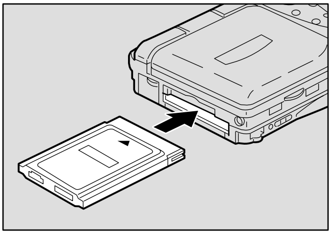
補足
・電話機の接続ジャックがモジュラージャックになっていない場合は、モジュラージャックに交換する工事が必要です。詳しいことはご加入の電話会社にご相談ください。

3
通信機器を接続する

❷ **カメラの電源が切れていることを確認します。**

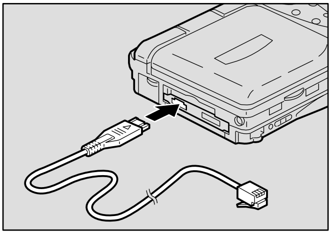
❸ **通信カードを､カメラのPCカードスロットに差し込みます。**

通信カードは表面を上にして、しっかり差し込みます。



❹ **接続用ケーブルを、通信カードに差し込みます。**

補足 ・通信カードと接続ケーブルの接続については、通信カードに付属の説明書をご覧ください。

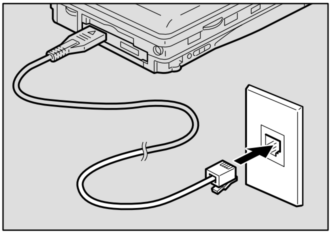


❺ **接続用ケーブルのもう片方のコネクタを、モジュラージャックに差し込みます。**

カチッと音がしてロックされるまで差し込みます。

❻ **モデムの設定を確認します。**

→ P.64「モデムの設定を確認する」



これで接続作業は完了です。

補足 ・通信が終了したら､カメラが接続されている接続用ケーブルをモジュラージャックから外し、電話機の接続用ケーブルをもとに戻してください。

カメラをISDN回線に接続する

ISDN回線に対応のデジタル公衆電話にカメラを接続する方法を説明します。

■必要なもの

・ISDN回線に接続するための通信カード（ISDNカード）
・接続用のケーブル

重要
・PCカードタイプの通信カードを使用したときは、PCカードスロットが通信カードで使われることになります。したがってPCカードに記録された画像を送信することはできません。この場合は、画像を内蔵メモリーまたはCFカードに記録（またはコピー）するようにしてください。

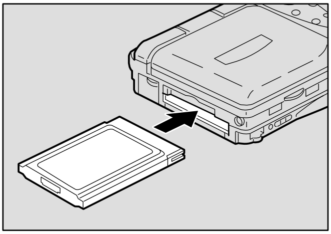
■接続する

重要
・通信カードをカメラにセットするときは、必ずカメラの電源を切ってください。電源を入れたままで行うと、通信カードが破壊されたり、カメラ本体が誤動作を起こす場合があります。

❶ カメラの電源が切れていることを確認します。

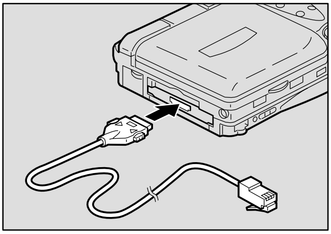
❷ 通信カードを、カメラのPCカードスロットに差し込みます。

通信カードは表面を上にして、しっかり差し込みます。



❸ 接続用ケーブルを、通信カードに差し込みます。

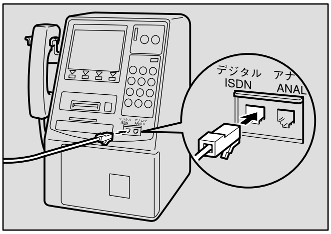
補足
・通信カードと接続ケーブルの接続については、通信カードに付属の説明書をご覧ください。



3
通信機器を接続する

❹ **接続ケーブルのもう片方のコネクタを、公衆電話の［デジタル］と書かれたジャックに差し込みます。**

公衆電話の右下にあるジャックカバーを開け、2つあるジャックのうち左側の［デジタル］に接続します。



❺ **［データ通信］または［切替］ボタンを押します。**

通常の電話からデータ通信に切り替わります。



❻ **モデムの設定を確認します。**

→ P.64「モデムの設定を確認する」

これで接続作業は完了です。
テレフォンカードまたは硬貨を入れ、通信作業を行ってください。



補足 ・公衆電話の種類により操作手順や接続方法が異なる場合があります。その場合は、ディスプレイに表示される操作手順にしたがって操作を行ってください。

カメラを携帯電話や PHS に接続する

カメラをデジタル携帯電話や PHS に接続します。

■必要なもの

●携帯電話の場合

・デジタル携帯電話に接続するための通信カード（デジタルセルラーカード）
・接続用のケーブル

● PHS の場合

・PHS 電話機に接続するための通信カード（PIAFS 対応の PHS カード）
・接続用のケーブル

重要

・PCカードタイプの通信カードを使用したときは、PCカードスロットが通信カードで使われることになります。したがってPCカードに記録された画像を送信することはできません。この場合は、画像を内蔵メモリーまたはCFカードに記録（またはコピー）するようにしてください。

■接続する

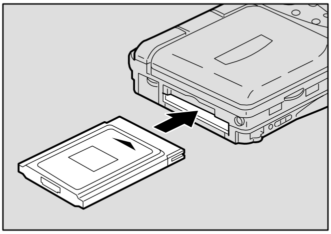
重要

・通信カードをカメラにセットするときは、必ずカメラの電源を切ってください。電源を入れたままで行うと、通信カードが破壊されたり、カメラ本体が誤動作を起こす場合があります。

❶ カメラの電源が切れていることを確認します。

❷ 通信カードを、カメラのPCカードスロットに差し込みます。

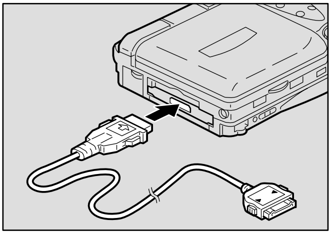
通信カードは表面を上にして、しっかり差し込みます。



❸ 接続用ケーブルを、通信カードに差し込みます。

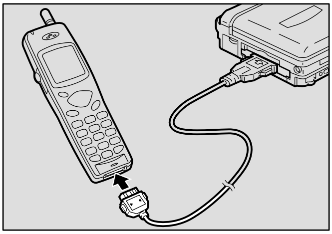
補足

・通信カードと接続ケーブルの接続については、通信カードに付属の説明書をご覧ください。



❹ 接続ケーブルのもう片方のコネクタを、携帯電話の接続端子に差し込みます。

端子カバーを開け、端子に接続します。



❺ モデムの設定を確認します。

→ P.64「モデムの設定を確認する」

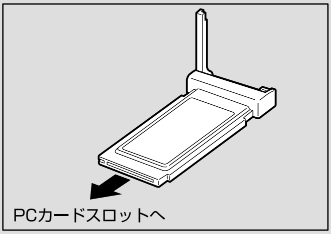
これで接続作業は完了です。

補足 ・携帯電話や PHS を使って通信をするときは、携帯電話や PHS に付属の説明書もあわせてご覧ください。

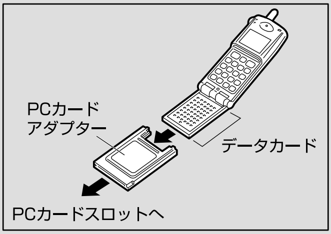
コラム

携帯電話と PHS 用の通信カードについて

携帯電話と PHS 用の通信カードには、携帯電話や PHS 機能を内蔵したカードタイプや、電話機とデータカードが一体になったタイプがあります。これらのタイプの場合には、ケーブルの接続なしでカメラの PC カードスロットに直接取り付けることができます。



携帯電話やPHS機能を内蔵したカードタイプ



電話機とデータカードが一体になったタイプ

通信カードを取り出す

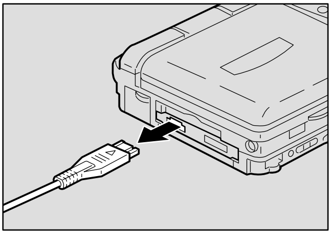
通信が終了したら、通信カードをカメラから取り出してください。

重要
・通信カードをカメラから取り外すときは、必ずカメラの電源を切ってください。電源を入れたままで行うと、通信カードが破壊されたり、カメラ本体が誤動作を起こす場合があります。

❶ カメラの電源が切れていることを確認します。

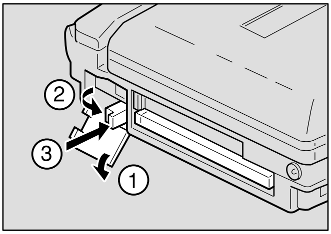
❷ 接続ケーブルを通信カードから外します。

補足 ・接続ケーブルの取り外し方法については、通信カードに付属の説明書をご覧ください。



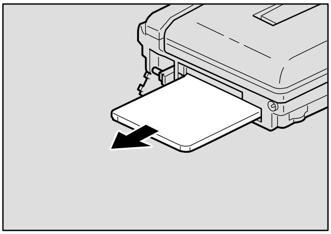
❸ EJECTレバーカバーを開き、PCカードEJECTレバーを矢印の方向に回して押します。

通信カードが少しだけ出てきます。



❹ 通信カードを、まっすぐ引き出すようにして取り出します。

❺ PCカードEJECTレバーを元に戻し、EJECTレバーカバーを閉じます。



重要
・通信中に通信カードをカメラから取り出さないでください。通信カードが破壊されることがあります。

モデムの設定を確認する

通常、カメラと通信機器を接続したら、すぐに通信やインターネット機能を使うことができます。これは、工場出荷の時点で、さまざまな設定項目が一般的な状態に設定されているためです。しかし、お使いの通信カードによっては、このままの設定でうまく動作しない場合があります。そのため、はじめて通信カードをセットしたときは、モデムの設定を確認してください。

重要
・設定の確認は、通信カードを変更しない限り、通信のたびに確認する必要はありません。

■モデムの設定内容

ここでは、次の4項目を確認します。通信やインターネット機能がうまく動作しない場合は、お使いの通信カードに合った設定に変更してください。

●スロット選択

通信カードがセットされているスロット（「PC」または「CF」）のいずれかの  を選びます。

- **PC**　：通信カードがPCカードスロットにセットされているとき。
- **CF**　：通信カードがCFカードスロットにセットされているとき。

●カード種別

セットした通信カードの種類（メーカーと型番）が表示されます。弊社で推奨していない通信カードがセットされているときは動作しません。必ず、推奨の通信カードをご使用ください。→別紙「動作確認済製品一覧表」

●追加 AT コマンド

ATコマンドは、カメラから通信カードを制御するためのコマンドです。ATコマンドを追加したいときに［追加ATコマンド］を選択します。通常は、追加する必要はありません。

補足
・ATコマンドについての詳細は、通信カードに付属の説明書をご覧ください。

●トーン設定

ダイヤルアップ接続をするときに、ダイヤルトーンを待つか待たないかを設定します。「待ってダイヤル」または「待たずにダイヤル」のいずれかのを選びます。工場出荷時には「待たずにダイヤル」に設定されています。

一般の電話回線（アナログ回線）をご使用の場合は「待ってダイヤル」を、ISDN回線や携帯電話、PHSをご使用の場合は「待たずにダイヤル」を選びます。

- **待ってダイヤル**　：ダイヤルトーンを待ってからダイヤルします。
- **待たずにダイヤル**：ダイヤルトーンを待たずにダイヤルします。

補足 ・電話の受話器をあげたときに聞こえる「プー」とか「ツー」という音をダイヤルトーンといいます。この音が聞こえている時は、通話が可能な状態です。ダイヤルアップ接続をするときも、モデムはこのダイヤルトーンを確認することで、通信が可能な状態かを知ることができます。

■モデムの設定を確認する

モデムの設定を確認する手順を説明します。

❶ カメラの電源を入れ、モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

初期設定メニューが表示されます。

❷［モデム設定］を選びます。

モデムの設定画面が表示されます。



❸ 各項目の設定を確認します。

必要に応じて、設定を変更します。



参照 ・P.64「モデムの設定内容」

3 通信機器を接続する

❹ ATコマンドを追加するときは、［追加ATコマンド］を選びます。

この画面でATコマンドを入力します。入力が終了したら、［OK］を選びます。



❺ 設定の確認が終了したら、［OK］を選びます。

設定の確認が完了し、初期設定メニューに戻ります。